

## 住民×議会 みんなで未来を語る会 報告書

開催日時 令和7年10月24日（金）19時30分～

開催場所 リブラ若狭 講堂

テーマ	どうなる？！町の農林水産業
出席議員	速水真由子議員 松本弘康議員 藤田正美議員 熊谷勘信議員
参加者数	7人
課題	猛暑や気候変動による農作物への影響、海の資源変動 獣害（イノシシ・シカ・クマ）の増加と駆除制度の硬直性 後継者不足・担い手高齢化と耕作放棄地の拡大 農機の高コスト問題（更新負担、リース制度不足、共同利用のトラブル） 補助制度や行政支援が現場に合っていない 行政がイベントに偏重し、現場支援が遅れている
意見・方向性等	使われていない農機や土地の情報を見える化し、マッチング 農機リース制度の導入・共同利用のルール化 個人農家への支援制度の新設 獣害対策の予算や制度を現場仕様に改善 行政の支援を「イベント型」から「現場課題解決型」へ転換 請願制度や傍聴改善など、町民が議会に参加しやすくする仕組みづくり  参加者の多くが、 「田園風景を守ること」を地域の将来像の軸にすべきと合意。  また、以下の点が繰り返し挙げられた。 法人だけに任せる形でも、地域に丸投げでも続かない 地域と担い手と行政の協働モデルが必要 女性や都市部人材の農業参入も重要な資源